

京都工業会 ニュース

基本理念

—21世紀を担うモノづくり集団—

京都からモノづくりイノベーション

2014 No.379

第46回 通常総会を開催 —服部重彦会長を再任—

5/23

5月23日(金)、京都東急ホテルにおいて、第46回通常総会が会員百五十名余の出席のもと、盛大に開催された。

服部重彦会長が開会挨拶を行った後、議長に選任され、議事に入った。

当日の議案は次の通り。

第1号議案：第46期（平成25年4月1日～平成26年3月31日）事業報告及び決算の承認の件

第2号議案：第47期（平成26年4月1日～平成27年3月31日）事業計画及び収支予算の報告の件

第3号議案：役員の任期満了に伴う改選の件

第4号議案：定款変更及び会費規程の一部改正の件

第5号議案：常勤の理事の年間報酬総額決定の件

第1号議案については、まず黄瀬専務理事が事業報告の全般について説明。続いて、総務委員会・井形彰利委員長、企画委員会・広岡義雄委員長、技術・教育委員会・太田 稔委員長、中堅企業委員会・竹ノ内壯太郎委員長、中小企業委員会・岡本光三委員長、環境委員会・長畑和典委員長、広報委員会・西山昌樹委員長より、各委員会の開催した事業について説明が行われた。また黄瀬専務理事より、収支決算について説明がなされた。そして監事5名を代表して河原耕嗣監事から会計監査の報告がなされ、全員異議なく原案通り承認された。

第2号議案については、黄瀬専務理事が主要な事業計画と収支予算についての説明を行い、全員異議なく原案通り承認された。

第3号議案については、議長推薦という選任方法について出席者からの承認を受けた後、事務局がその推薦案を読み上げ、全員異議なく承認された。

第4号議案については、専務理事が定款変更及び会費規程の一部改正について説明し、全員異議なく原案通り承認した。

第5号議案については、専務理事が常勤の理事の年間報酬総額決定について説明し、全員異議なく原案通り承認し、以上をもって滞りなく全議案の審議を終えた。

総会終了後、役付理事選任理事会を別室にて開催し、



会長に服部重彦氏を再任、更に副会長に武田一平氏、天野嘉一氏、依田 誠氏、立石文雄氏、錦織 隆氏、林泰彦氏、片岡宏二氏の7氏を再任、久芳徹夫氏を新任した。そしてこれを総会出席者全員に報告し、満場の拍手を受け、服部会長三期目のスタートとなった。

会 長	服部 重彦	(株)島津製作所 会長	再任
副 会 長	武田 一平	(ニ チ コ ン) 会長	再任
副 会 長	天野 嘉一	(日 新 電 機) 会長	再任
副 会 長	依田 誠	(株)ジーエス・ユアサコーポレーション 社長	再任
副 会 長	立石 文雄	(オ ム ロ ン) 会長	再任
副 会 長	久芳 徹夫	(京 セ ラ) 会長	新任
副 会 長	林 泰彦	(福田金属箔粉工業) 副会長	再任
副 会 長	錦織 隆	(株)日進製作所 会長	再任
副 会 長	片岡 宏二	(株)片岡製作所 社長	再任
専務理事	黄瀬 謙治		再任
常任理事	31名		
理 事	28名		
監 事	5名	(新役員名簿は3頁に掲載)	

引き続き、京都府・京都市をはじめ関係諸機関より多数のご来賓の臨席を得て懇親会を開催。冒頭、服部会長が挨拶を行い、続いて来賓を代表して山田啓二京都府知事・門川大作京都市長より祝辞をいただいた後、来賓紹介、そして新入会員（正会員6社・賛助会員1社・特別会員1社3大学）の紹介が行われ、賑やかな雰囲気の中に天野副会長の乾杯発声で開宴した。

その後は和やかに歓談し、錦織副会長の閉会挨拶をもって盛況裡に懇親会を終えた。

平成26年度（第47期）事業計画大綱

基本理念：—21世紀を担うモノづくり集団—

京都からモノづくりイノベーション

★新規事業、または一部新規事業

(1) 会員相互の緊密な結びつきと交流を促進する

- ★1) 会員拡大運動の推進……………年間
- 2) 新春交歓会の開催……………定例
- 3) 京都工業クラブ、蔦の会、白鷺クラブの開催
……………各12回／年
- 4) 他府県産業界の視察と交流……………1回／年
- 5) 委員会活動の推進と連携……………年間

(2) モノづくりを支える多角的な人材育成の強化・技術の継承を推進する

- 1) 京都高等技術・経営学院の内容の充実……………
研究科3コース／年
 - ア. 電子システム研究科
 - イ. メカトロニクス研究科
 - ウ. ウエルネス研究科
- 2) 生産管理・技術等研究会内容の充実強化……………年間
 - ア. 経営管理懇話会（8懇話会）の開催
 - イ. 業務革新研究会（8研究会）の開催
 - ウ. 技術・情報管理研究会（5研究会）の開催
- 3) 技術開発支援強化……………随時
 - ア. テクノロジー＆マネジメント研究会の開催
……………13回／年
 - イ. REACH対応特別研究会の開催…3回／年
- 4) セミナー・工場見学会の開催……………随時
 - ア. 生産革新工場見学会の開催……………5回／年
 - イ. 技能伝承セミナーの開催……………1回／年
- ★ウ. 開発設計ソリューション見学会の開催
……………6回／年
- ★エ. モノづくり革新道場及び特別合宿研修会の
開催……………6回／年

(3) 新たな産学公連携の強化による新産業・新事業の創出をはかる

- 1) 京都産学公連携フォーラムの開催……………1回／年
- ★2) 京都産学公連携機構との連携……………年間
- 3) 産学連携マッチング交流会の開催……………随時
- ★4) i P S 等再生医療関連産業の育成……………年間

(4) 経営グローバル化による新産業・新事業の創出をはかる

- ★1) 「2014 スペイン・フランス産業視察団」(仮称)の派遣
……………1回／年
- 2) 東南アジアビジネス展開支援事業の開催…5回／年
- ★3) 「ミャンマー・ビジネスマッチング視察団」(仮称)の派遣
……………1回／年
- 4) 海外企業及び経済団体との交流……………随時

(5) 経営革新の研究・追究によりビジネスチャンスの創出をはかる

- 1) 生産革新工場見学会の開催（再掲）……………6回／年
- 2) 2014中小企業見学会の開催……………6回／年
- 3) 中小企業技術幹部交流会の開催……………6回／年
- 4) 京都ハイブリッドテクノロジーネット事業の
実施……………6回／年
- ★5) 技術経営事例の研究……………随時

(6) 各種の環境事業を通して、地域・地球環境保全と共に 企業経営貢献性の向上をはかる

- 1) 京都環境管理研究会の開催……………7回／年
- 2) 労働安全衛生研究懇話会の開催……………7回／年
- 3) 環境マネジメントシステム
(ISO14001及びK E S) の推進……………年間
- 4) 環境関連課題の動向調査と研究……………年間
- ★5) 京都産業エコ・エネルギー推進機構との協調……………年間
- ★6) 環境・エネルギー問題に関する講演・セミナーの開催
—経済4団体共同事業—…1回／年

(7) 地域産業活性化事業への参画と協調をはかる

- 1) 京都経済団体協議会との協調……………随時
- 2) 府内・外関係経済団体との協調……………随時
- 3) 国・京都府・京都市等関係行政機関との
情報交換と協調……………随時
- 4) 京都産業育成コンソーシアムへの参画……………随時
- ★5) 京都産学公連携機構との連携(再掲)……………随時
- 6) 京都産業エコ・エネルギー推進機構との協調(再掲)
……………随時
- ★7) 京都経済センター建設検討委員会への参画…随時
- ★8) 北部地域でのセミナーの開催……………随時
- 9) 青少年と科学の会への支援及び
京のエジソンプログラムの推進……………随時

(8) 広報・会員サービス事業の推進をはかる

- 1) 会員企業優秀従業員の会長表彰……………1回／年
- 2) 京都工業会ニュースの発行……………5回／年
- 3) 景況等に関する調査・報告……………随時
- 4) 要望活動……………随時
- 5) 会員カタログコーナーの設置……………年間
- 6) 各種表彰推薦……………随時
- 7) 会員名簿・要覧の発行……………1回／年

(9) 京都工業会館の円滑な運営と有効活用をはかる…年間

平成26年度 公益社団法人 京都工業会

〈役付役員名簿〉

(役職は平成26年5月23日現在)
(※は新任)

会 長	服部重彦	(株)島津製作所	会 長	常任理事	村上 修	第一工業製薬(株)	執行役員 生産管理部長
副会長	武田一平	ニチコン(株)	会 長		村田純一	村田機械(株)	会 長
	天野嘉一	日新電機(株)	会 長		村田恒夫	(株)村田製作所	社 長
	依田 誠	(株)ジーエス・ユアサ コーポレーション	社 長		山岡祥二	(株)山岡製作所	社 長
	立石文雄	オムロン(株)	会 長		山元康裕	関西電力(株)京都支店	支店長
	※久芳徹夫	京セラ(株)	会 長		吉田由紀夫	太平工業(株)	社 長
	林 泰彦	福田金属箔粉工業(株)	副会長	理 事	安藤源行	(協)日新電機協力会	理 事 長
	錦織 隆	(株)日進製作所	会 長		※伊熊浩之	日本たばこ産業(株)関西工場	工場長
	片岡宏二	(株)片岡製作所	社 長		※井上哲次	京都精工電機(株)	会 長
顧問	西八條 實	(株)島津製作所	相談役		上野山寛次	上野山機工(株)	社 長
	寿栄松憲昭	元日本電池(株)	社 長		尾池 均	尾池工業(株)	社 長
	田中千秋	元日本電池(株)	社 長		笠井健司	京都府鋳物工業協	代表理事
	矢嶋英敏	(株)島津製作所	相談役		川口剛史	(株)日本ジョイント	社 長
専務理事	黄瀬謙治	(公社)京都工業会	専務理事		小林剛一	日本電気化学(株)	社 長
常任理事	石田 明	大日本スクリーン製造(株)	会 長		阪口雄次	(協)京都府金属プレス工業会	理 事 長
	石田隆一	(株)イシダ	会 長		里村善啓	宇治電器工業(株)	相談役
	岩田武久	(株)たけびし	会 長		島田理史	(株)菊水製作所	常務取締役
	宇城邦英	京都機械工具(株)	社 長		須河進一	須河車体(株)	社 長
	裏辻俊彦	ニチュ三菱フォークリフト(株)	特別相談役		鈴木三朗	(株)最上インクス	相談役
	大倉治彦	月桂冠(株)	社 長		鈴木順也	日本写真印刷(株)	社 長
	大宮 正	宝ホールディングス(株)	副会長		※瀬川晋弘	旭光精工(株)	社 長
	岡本光三	(株)大日本科研	社 長		土田 修	大日本印刷(株)包装事業部	専務取締役担当役員
	檜藤達郎	(株)カシフジ	社 長		※中村 通	朝日レントゲン工業(株)	社 長
	※小西久二	T O W A (株)	常務取締役		根来紀行	(株)松 風	社 長
	※小西雅之	大阪ガス(株)	常務執行役員 京滋地区総支配人		野田保博	(株)富永製作所	社 長
	小原 勉	(株)工 進	社 長		橋本 進	(株)京都製作所	会 長
	※材木正己	日東精工(株)	社 長		※町田徳男	(公社)京都工業会	理事・事務局長
	※砂崎達哉	(株)砂崎製作所	社 長		水主邦彦	太陽機械工業(株)	会 長
	竹ノ内壯太郎	三和研磨工業(株)	社 長		森川真伍	(株)森川製作所	社 長
	塚本耕二	(株)モリタ製作所	社 長		山中泰宏	旭金属工業(株)	社 長
	塚本能交	(株)ワコールホールディングス	社 長		山本 正	丹後機械工業協	理 事 長
	津田幸平	津田電線(株)	社 長		吉田茂次	サンコール(株)	会 長
	友納文隆	三菱自動車工業(株)	執行役員 ホールディングス製作所長		吉田典生	三和化工(株)	社 長
	中西正夫	(株)川島織物セルコン	社 長		渡邊 壯	松下精機(株)	社 長
	平田 弘	グ ン ゼ (株)	会 長	監 事	河原耕嗣	(株)宮木電機製作所	社 長
	堀 英二郎	太陽精機(株)	社 長		佐藤博文	エンゼル工業(株)	会 長
	堀場 厚	(株)堀場製作所	会長兼社長		※澤田守成	(株)パックス・サワダ	社 長
	前川重信	日本新薬(株)	社 長		※武村辰憲	双和電機(株)	社 長
	※増山晃章	星和電機(株)	社 長		中野秀紀	明光精器(株)	社 長

第46回通常総会

(敬称略)



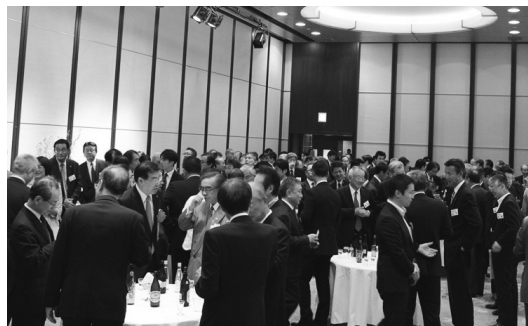
挨拶 服部 重彦
京都工業会 会長



祝辞 山田 啓二
京都府知事



祝辞 門川 大作
京都市長



懇親交流会

平成26年度 会員企業優秀従業員定例表彰

5/13

～ 54 氏 を 表 彰 ～

5月13日(火)午後、平成26年度優秀従業員定例表彰が、京都工業会館にて行われた。

まず、受賞者54氏(41社)を代表して、福永重信氏(株)宮木電機製作所へ服部会長から表彰状と記念品が授与された。続いて、同会長の式辞、来賓の京都府商工労働観光部 副部長 古川博規氏、京都市産業戦略監 白須 正氏の祝辞の後、受賞者代表として若林 悟氏(太陽精機(株))が謝辞を述べた。そして最後に本会正副会長、来賓各位とともに記念撮影を行い、同表彰式を終えた。



〈受賞者名〉 (以下敬称略)

(株) イ シ ダ	大 辻 隆	(株) G S ユ ア サ	八 田 俊 之	(株) 日 進 製 作 所	河 島 里 枝
尾 池 工 業 (株)	桑 木 克 寛	島津エンジニアリング(株)	小 谷 孝 行	(株) 日 進 製 作 所	田 中 英 昭
大阪ガス(株)京滋エネルギー営業部	中 村 茂	島津システムソリューションズ(株)	横 井 秀 樹	日 新 電 機 (株)	北 村 秀 章
大阪ガス(株)京滋リビング営業部	吉 形 安 生	(株) 島 津 製 作 所	市 川 勝 彦	日 新 電 機 (株)	常 陸 尚 生
(株) カ シ フ ジ	市 田 徹	(株) 島 津 製 作 所	平 野 隆	日 東 薬 品 工 業 (株)	田 外 浩 之
(株) 菊 水 製 作 所	中 村 弘	(株)島津ビジネスシステムズ	井 上 義 治	福田金属箔粉工業(株)	岩 本 雄 三
京 セ ラ (株)	新 垣 誠	須 河 車 体 (株)	酒 井 淳 一	福田金属箔粉工業(株)	中 大 路 文 浩
京 セ ラ (株)	田 中 昌 夫	菅 原 精 機 (株)	蛭 田 信 人	(株) 平 安 製 作 所	木 下 浩 之
京都機械工具(株)	安 田 義 弘	星 和 電 機 (株)	徳 寺 重 和	(株) 平 安 製 作 所	森 野 正 次
京都精工電機(株)	上 田 晃 司	太 陽 機 械 工 業 (株)	石 原 毅	(株) 堀 場 製 作 所	大 西 佳 郎
ク ロ イ 電 機 (株)	山 田 茂 美	太 陽 精 機 (株)	河 波 光 成	三菱自動車工業(株)ハワートレイ製作所	木 村 清
月 桂 冠 (株)	出 店 元 子	太 陽 精 機 (株)	若 林 悟	三菱自動車工業(株)ハワートレイ製作所	児 玉 良 夫
(株) 工 進	竹之内 務	(株) 大 日 本 科 研	船 槻 伸 一	(株)宮木電機製作所	福 永 重 信
サンコール(株)	山 田 直 樹	ト ク デ ン (株)	大 西 武	村 田 機 械 (株)	高 島 信 吾
サンコール(株)	義 村 敏 隆	T O W A (株)	緒 方 健 二	村 田 機 械 (株)	三 上 和 彦
(株) 佐 藤 製 作 所	田 中 義 久	T O W A (株)	傳 藤 勝 則	(株)ユーシン精機	塩 崎 哲 郎
三 和 化 工 (株)	梧 桐 高 春	(株) 富 永 製 作 所	浅 野 尚 志	(株)ユーシン精機	鈴 谷 英 紀
三 和 研 磨 工 業 (株)	中 島 隆 史	ニチユ三菱フォークリフ(株)	森 輝 実	(株)タイヨーアクリス (協京都府金属プレス工業会)	岡 部 昌 利

第565回京都工業クラブ

4/18

トップがリードし事業を変える・創る ～営業・技術一体となった事業革新の実際～

(株)ジェーエヌエル 社長 浅霧 敦生氏

企業革新コンサルティングとしてご活躍の浅霧氏をゲストにお迎えし、その企業を元気にする企業革新事例の紹介と要点の解説をいただいた。

講演では、「トップがリードする市場創造・開発型企業への変革」として、企業幹部自らがヒアリングをして顧客の課題・ニーズをつかみ、差別化商品の開発を指揮、ターゲット顧客に短期間で計画的な販売を可能とする組織に変革させた著名企業の事例を紹介され、成功の要因は幹部の自信と熱意である、と述べられた。



第566回京都工業クラブ

5/16

我が国を取り巻く国際情勢のゆくえ

同志社大学 学長 村田 晃嗣氏

中国をはじめ近隣諸国との外交課題が続出し、日米関係等と合わせそのゆくえが懸念されている中、明快な解説で著名な村田同志社大学学長をお迎えし、お話を伺った。まず100年前の第一次世界大戦開戦から今日までを振り返り、更に中国・米国の現状について解説され、日・米・中は今後10年程の間にどれだけ国内改革に取り組むかによって21世紀の国の姿が決まるであろうこと、そして最後に日本政治の課題として、有権者が忍耐力と多様性と覚悟を持って政治家を選び育てなければ日本政治の再生は難しく、米・中との国内改革競争を勝ち抜くことは難しいのではないかと、多くは我々有権者の肩にかかっている、と述べられた。



第567回京都工業クラブ

6/20

日本のモノづくりのゆくえを探る ～日本メーカーに再び「fun」の概念を～

立命館大学経営学部 教授 善本 哲夫氏

世界を席卷した往年の勢いを失い閉塞感の漂う日本のモノづくりのゆくえについて、気鋭の経営学者である立命館大学の善本教授をお迎えし、お話を伺った。講演では、「資源は存在するだけでは資源とならない、人の働きかけによって初めて資源化する」として、ポテンシャルを見出せていない人・モノ・機能が社内で遊休化していませんか？と問いかけられ、昨今のキーワードは「多様性」であるが多様性を集めただけではイノベーションに結びつかない、内なる多様性を見出し資源化することが重要である、と述べられた。



白鷺クラブ視察旅行

6/19～21

北海道を訪問

恒例の視察旅行として、同クラブとしては初めて、近年自動車関連企業の集積が相次ぐ北海道を6月19日から3日間にわたり視察した。

19日は第3セクター企業・(株)苫東を訪問、東西9km、南北12kmの広大な用地を擁し、陸海空の物流拠点に位置して今後の発展が期待される。次いでトヨタ自動車北海道(株)を訪ね、オートマチックトランスミッション等を生産するラインを見学した。また北広島輪厚工業団地の視察も行った。

翌20日には千歳市にある(株)ダイナックスを訪問、自動車用クラッチディスクで国内シェア1位、世界シェア2位の最新工場を見学した。

午後には明治40年設立の(株)日本製鋼所室蘭製作所を訪問、30万坪に及ぶ広大な敷地に超大型設備向けの鋳鍛鋼などの製造を中心として大型発電機軸、原子炉容器等の老舗トップメーカーの見学を通じて同社への理解を深めた。

21日には各グループに分れ、懇親を深める行事を行い、有意義な北海道での視察を終えた。



▲(株)日本製鋼所室蘭製作所にて

京都高等技術・経営学院

6/24

「第34回電子システム研究科」開講 「第31回メカトロニクス研究科」

6月24日、第34回電子システム研究科(17名)、第31回メカトロニクス研究科(24名)の合同開講式が挙行された。理論にもとづく応用力の強化、先端電子技術を習得する「電子システム研究科」と、機械と電子の接点を理解・習得する「メカトロニクス研究科」は京都府の支援と在洛の大学と産業界の協力により来年2月下旬まで行われる長期研修であり、今年度は近年で最も多い研修生を迎えることとなった。

当日は天野嘉一京都高等技術・経営学院長(本会副会長)の式辞、そして京都府中小企業技術センター副所長谷口修一氏よりお祝いと激励の言葉がおくられた。

～多数の参加企業を得て、総勢216名で活動をスタート～

総合オリエンテーション

当日は、先ず12時から「技術・教育委員会と各研究会の正副主査との懇談会」を開催、研究会の運営方法や正副主査の役割などについて、意見を交換した。

その後、13時30分より京都工業会館 4F 講堂に総勢216名が一堂に会し、総合オリエンテーションを開催した。

冒頭、技術・教育委員会 委員長 太田 稔氏（日新電機(株)人材開発部主幹）が、「激動の今こそ、他社事例やアドバイザーの講義、演習などから各自の業務革新能力を磨いて、新たな社内B M（ベンチマーク）化へのヒントやノウハウを持ち帰って欲しい」と挨拶。

続いて研究会活動を行う上での基本事項を確認後、当研究会のO Bでもある日東精工(株)海外戦略部 井ノ元 美和氏が「これからのモノづくりに求められること」と題して講演、その後、8研究会は、それぞれに分かれ、年度方針の検討を行った。

5月から本格的な活動がスタートする。



においては、両グループが合流して共通課題を研究する仕組みで1年間の活動を運営する。

平成26年度は、実践演習を増加させると共に、この8研究会を基盤に幅広く内外の業務革新情報の収集、各種大会、特別講演会等の開催、マンスリーレポートの発刊など、外部に向かってもタイムリーな情報を発信していく。

各研究会の正副主査名 (敬称略)

研究会名	正副主査名・社名
品質革新 (33名)	木津 知也 (京都電子工業(株)) 山田 英史 (太陽精機(株)) 小林 和也 (ニチコン草津(株))
生産管理 (28名)	乾 正保 (関西尾池工業(株)) 岩田 陽介 (オムロンソーシアルソリューションズ(株)) 西川 俊子 (株)堀場製作所
購買調達革新 (23名)	富田 義則 (株)島津製作所 渡部 真則 (株)富永製作所 橋本 亘紘 (オムロンヘルスケア(株))
生産革新：基礎IE部会 (42名)	松本 英志 (株)島津製作所 盛山 英之 (日本アイティエフ(株)) 児玉 工 (株)寺内製作所
生産革新：JIT改善部会 (15名)	信重 芳 (株)イシダ 木村 易史 (ニチュ三菱フォークリフト(株)) 水越 達也 (株)モリタ製作所
V E (19名)	川原 啓司 (ニチュ三菱フォークリフト(株)) 真鍋 拓也 (福田金属箔粉工業(株)) 鷹野 直道 (関西尾池工業(株))
生産現場リーダー力強化 (46名)	山田 正起 (日新電機(株)) 田中 良寿 (田中精工(株)) 石川 宗央 (株)山岡製作所
T P M (10名)	相根 直樹 (島津プレジジョンテクノロジー(株)) 堀川 俊之 (グンゼ(株)) 軽尾 弘喜 (京都機械工具(株))

研究会誕生の背景

研究会事業の発端は、1959年に開催された「I E研究会」という講習会にある。

これを機に講習会では解決しない管理技術面での課題を解消するための場を設置しようとの機運が強まり、島津製作所、オムロン、三菱重工業などの大手会員企業が牽引役となって、先ず、1963年に品質管理、生産管理、外注管理、作業、工作の5研究会の設置をみた。その特徴は、

①各社の第一線の管理技術者がギブ&テイクをとおして、実務上の問題解決を目指すこと

②大手企業が中小企業の管理技術者の養成に貢献することにあった。以後、50年余の歴史と伝統を刻みながら、平成22年度から事業名を「業務革新研究会」に一新し、より激動の時代に対応できる内容作りを目指している。

平成26年度の方向性

「グローバル競争に勝ち残るものづくり革新力の強化」をテーマに、研究会メンバー一人一人がその業務経験と能力に応じ、1年間の到達目標を設定し、より実践的な演習等を増強していく。当面、前期・基本編（5～9月）においては、アドバイザーの指導を受けながら、

①実務の基本を再確認するグループ

②経験交流による実践研究を行うグループ

の2グループに分かれ、また、後期・実務編（10～2月）

〈予告ご案内〉

～再生可能エネルギー、環境対策を探る～

2014 スペイン・フランス産業視察団

情報通信技術を生かし次世代に向けた持続可能でスマートな社会システムの構築をめざし先進的取り組みが進むスペイン、そして高度なエネルギー管理システム・スマートコミュニティの実証がスタートしたフランス（リヨン）に産業視察団を派遣することにしました。

奮ってご参加下さいますようご案内します。

【訪問国】 スペイン、フランス

【日 程】 11月15日(土)～23日(日) 9日間

【団 長】 会長 服部重彦（株島津製作所 会長）

【内 容】 ・バルセロナ・スマートシティ国際会議に参加
・スマートシティ関連の実証取り組みの視察
・日系進出企業見学
・行政機関等関係者と懇談 他

【参加者】 約30名

月日 (曜)	地 名	スケジュール (予定)
11/15 (土)	関西空港発 パ リ 着 パ リ 発 リ ヨ ン 着	12:25 空路、リヨンへ（パリ経由） 着後、ホテルへ
11/16 (日)	(リヨン)	世界遺産リヨン歴史地区等市内視察
11/17 (月)	(リヨン)	◎スマートシティの関係機関訪問 ・リヨンプロジェクト概要説明 ・コンフルエンス再開発地区見学 ◎「ジェイテクト欧州本社・技術センター」訪問
11/18 (火)	リヨン発 バルセロナ着	空路、バルセロナへ 世界遺産サグラダ・ファミリア等 バルセロナ市内視察
11/19 (水)	(バルセロナ)	◎「バルセロナスマートシティ国際会議」に参加 (京都ブースセレモニー調印式) ◎「バイオクラスター」訪問 ◎日系進出企業訪問
11/20 (木)	バルセロナ発 マラガ着	空路、マラガへ ◎「マラガZEM2 ALL」視察
11/21 (金)	マラガ グラナダ マラガ発 パ リ 着	世界遺産アルハンブラ宮殿等視察 空路、パリへ
11/22 (土)	パ リ 発	空路、帰国の途へ
11/23 (日)	関西空港着	09:15 着後、解散

〈予告ご案内〉

ミャンマー・カンボジア ビジネス視察団

豊富で安価な労働力を背景にアジア最後の未開拓市場として注目を集めるミャンマー及び日本との交流の歴史も長く、緊密な関係にあるカンボジアを訪問し、工業団地と現地の日系進出企業等を視察します。

現地での経営施策を学ぶとともに、急激に発展が進む両国の状況を具にご覧いただき、今後の東南アジアでのビジネス展開にお役立ていただくため、下記の日程で視察団を派遣することになりました。

是非ともご参加いただきますようお願いします。

＜実施内容＞

日 程：10月20日(月)～10月25日(土) 6日間

視察国：ミャンマー（ヤンゴン）

カンボジア（プノンペン）

団 長：本会理事 瀬川 晋弘（旭光精工(株) 社長）

内 容：工業団地視察(ミンガラドン・南ダゴン地区等)

日系進出企業見学（経営幹部との意見交換）

経済関係機関訪問 他

参加者：経営幹部など約20名

“独自技術が光る製造業の集積を訪ねる”
他府県産業の視察

「広島県」工場見学会 ご案内

独自の最新技術でわが国の自動車産業をリードするマツダや産業用機械から交通事故防止支援機器への展開など時代に的確に対応し、成長し続ける広島県の製造工場等を訪問。地元産業界との懇談により発展の秘密に迫る視察会を実施します。多数のご参加をお願いします。

＜実施内容＞

日 程 10月7日(火)、8日(水)

内 容 (予定)

1日目 カイハラ(株) 訪問

デニム素材の一貫生産

ヒロボー(株) 訪問

ホビー用無線操縦模型、電子機器製造

(株)北川鉄工所 訪問

環境製品、建設機械製造

広島県東部機械金属工業協、電子産業関連

企業交流グループ役員との懇談

2日目 マツダ(株) 訪問

乗用車・トラック製造

(株)デルタツーリング 訪問

各種産業用機械設備の設計・製造販売

賀茂鶴酒造(株) 訪問

清酒「賀茂鶴」醸造元

新入会員ご紹介

〈正会員〉（5月13日、第295回理事会で承認されました。）

ナルックス（株）

社長 北川 清一郎

〒618-0001 大阪府三島郡島本町山崎2-1-7

TEL.075-963-3456 FAX.075-963-3450

光学設計、光学素子並びに金型の製作、光学レンズ・光学素子のプラスチック成形加工、プラスチック表面皮膜形成評価機器製作など

〈賛助会員〉

（株）阪急阪神ビジネスホテル

西日本営業本部京都支店

支店長 木 虎 資 博

〒604-8187 京都市中京区御池通東洞院西入笹屋町435

TEL.075-255-1616 FAX.075-231-4157

旅行業

〈特別会員〉

国立大学法人京都工芸繊維大学

学 長 古 山 正 雄

〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町1

TEL.075-724-7034 FAX.075-724-7030

工芸科学部

学校法人京都産業大学

学 長 藤 岡 一 郎

〒603-8555 京都市北区上賀茂本山

TEL.075-705-1778 FAX.075-705-1966

経済・経営・法・外国語・文化・理・コンピュータ理工・総合生命科学部

学校法人龍谷大学

学 長 赤 松 徹 眞

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67

TEL.075-642-1111 FAX.075-642-8867

文・経済・経営・法・理工・社会・国際文化・政策・短期大学部



ゴルフ同好会
(KIG)だより

▶本年度第2回例会（第206回例会）結果

と き：6月13日(金)

ところ：城陽カントリークラブ

参加者：18名（内、シニア6名）

優 勝 中嶋忠男氏（社会保険労務士法人中嶋事務所）

準優勝 赤嶋貞宏氏（㈱関西電業社）

3 位 神野 勝氏（エーシック㈱）

B G 賞 木下 豊氏（㈱エクザム）

（協）京都府金属プレス工業会

5 / 31

創立50周年記念式典 行われる

5月31日に、本会団体会員である（協）京都府金属プレス工業会（理事長 阪口雄次氏 本会理事）の創立50周年記念式典がリーガロイヤルホテル京都において来賓、会員ら多数出席のもと開催された。

同工業会は、昭和39年、プレス加工技術の研究と指導、そして近代化促進法の指定を受けるための準備を目的に本会の部会・研究会の一つである工作研究会のプレス加工小部会を母体として前身の京都府プレス工業会が設立され、事務局やその運営について約10年間にわたり本会が代行した経緯があり、今尚緊密な関係にある。

本会としても祝意を表すると共に今回の50周年の節目を機に、同工業会が金属プレス業界の振興と発展に向けて更なる活動を展開されることをお祈りいたします。

【外部情報】

平成26年経済センサス基礎調査・商業統計調査

総務省と経済産業省は、平成26年7月1日に、全国のすべての事業所及び企業が対象となる、平成26年経済センサス基礎調査と平成26年商業統計調査を一体的に実施します。

「経済センサス基礎調査」及び「商業統計調査」の調査結果は、国及び地方公共団体における行政施策の立案や、民間企業における経営計画の策定など、社会経済の発展を支える基礎資料として広く利用されます。

支社等のない事業所には、調査員が直接伺い調査票をお配りし、また支社等を有する企業には、国が民間事業者を通じて本社等に調査票を郵送しています。

統計法（平成19年法律第53号）に基づいた報告義務のある調査（基幹統計調査）として調査の趣旨、必要性を御理解いただき、ご回答を宜しくお願い致します。

【経済センサス基礎調査に関するお問合せ】

総務省統計局 統計調査部 経済基本構造統計課

TEL. 03-5273-2020

【商業統計調査に関するお問合せ】

経済産業省 大臣官房調査統計グループ構造統計室

TEL. 03-3501-1511

〈お知らせ〉

事務局・京都工業会館 夏季休暇

8月14日(木)、15日(金)、16日(土)

京都工業会ニュース No.379

■2014年7月24日発行

■発行——公益社団法人 京都工業会

〒615-0801 京都市右京区西京極豆田町2
TEL.075(313)0751 FAX.075(313)0755
U R L : <http://www.kyokogyo.or.jp>
E-mail : info@kyokogyo.or.jp